琉球政府文書

沖縄県文書

米国収集資料

沖縄関係資料

沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

20年のあゆみ
A Review of Twenty Years

沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

20年のあゆみ
A Review of Twenty Years

発刊のことば

沖縄県知事　翁長雄志

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

沖縄県公文書館は、平成 7 年 8 月 1 日に開館し、この度 20 周年の節目を迎えました。

沖縄県公文書館は「公文書館法」を設置根拠としており、都道府県立の公文書館としては 26 番目の設置です。設置当時、公文書館やアーカイブズという言葉は、国内的にみてまだまだ定着していませんでした。その後、公文書管理をめぐるさまざまな課題が議論され、公文書管理と情報公開がいわば車の両輪となって、民主的で開かれた行政に導くものであることが認識されるようになりました。この流れの中で、公文書館の果たす役割がますますクローズアップされています。

本県は、沖縄県公文書館設置にあたって、県の作成・収受した文書が公文書館長へ引渡され、歴史資料として広く利用されるための仕組みを作ってまいりました。沖縄県公文書館設置の契機となった重要な文書としては、戦後 27 年間の米国施政権下で琉球政府等が作成・収受した琉球政府文書約 16 万簿冊があります。また、日本復帰後の沖縄県文書も、琉球政府文書と連続性を持つ歴史資料として、沖縄県公文書館で適切に管理保存され、県民共有の知的財産として活用されるようになりました。加えて、米国国立公文書館等からも、琉球列島米国民政府（USCAR）文書をはじめ、沖縄戦や戦後の沖縄統治に関する資料を収集し、広く利用に供しています。

この度、沖縄県公文書館がその使命を果たすために取り組んできたことを県民に広く知っていただくため、この『20 年のあゆみ』を発刊いたしました。記録によって沖縄県の過去の足どりを見つめ、未来のあるべき姿を考え、創造する時、本書がその助けとなれば幸いです。

平成 28 年 3 月

発刊にあたって

沖縄県公文書館指定管理者
（公財）沖縄県文化振興会　常務理事
沖縄県公文書館長　真栄城香代子

『20 年のあゆみ』の発刊にあたって、ひとことごあいさつ申し上げます。

沖縄県文化振興会は、平成 8 年 4 月から沖縄県公文書館業務を受託し、平成 19 年 4 月以降は指定管理者として館の管理運営に携わっています。公文書館の専門職員を有する当財団は、県と連携しつつ、館の基幹業務を 20 年にわたり担ってきました。公文書館の責務、使命、役割機能等を十全に発揮するため、収集、評価選別、整理、閲覧提供、保存修復等の業務に取り組み、日々研鑽に努めています。

本書は、これらの業務や組織の概要をまとめたものです。「第 1　概要」は、公文書館運営の基礎となる組織体制や職員配置を中心に記述しました。「第 2　業務実績」では、実績をグラフや表に見やすくまとめ、わかりやすさを心がけました。「第 3　各年のできごと」は、平成 17 年度から 26 年度までの各種事業について、写真を多用して紹介しています。開館から平成 16 年度までの 10 年間については平成 18 年発刊の『沖縄県公文書館年報第 7 号・10 年のあゆみ』をご覧いただければと思います。

公文書館設置にお力を尽くしてくださった関係各位と、開館以来現在に至るまで当館の活動を支援し、見守ってくださる皆様に心より感謝いたしますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

目次

第１　概要

1　主要事項・・・

第３　各年のできごと

2005　平成 17 年度 ・・・

第 1　概要

1　主要事項

	主要事項
H7	○沖縄県教育庁から琉球政府文書約 15 万簿冊その他が移管される。（5 月 15 日） ○沖縄県総務部文書学事課から沖縄県文書 12,000 箱が移管される。（5 月 15 日） ○「沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例」施行、沖縄県公文書館開館。（8 月 1 日） ○「沖縄県公文書館管理規則」施行。（8 月 1 日） ○開館記念式典その他の記念事業（祝賀会、特別講演会・講座、特別展等）実施。（8 月 1 日～ 6 日） ○「沖縄県公文書館運営懇話会設置要綱」（総務部長決裁）施行。（10 月 27 日） 懇話会は平成 18 年度末まで開催。
H8	○「沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例」改正により、館の業務の一部を（財）沖縄県文化振興会に委託。公文書専門員が増員となり、県から財団派遣の 5 人と財団常勤職員 3 人の合計 8 人体制。（4 月 1 日） ○「沖縄県公文書館管理規則」改正により、休館日に関する附則の経過措置を削除し、月曜休館（土日開館）となる。（4 月 1 日） ○「沖縄県文書編集保存規程」改正により、第 1 種文書の保存期間を長期から 20 年に有期限化した。また、保存期間満了文書は公文書館へ引渡すこと、第 1 種文書は保存期間を延長しても公文書館長が保存することとする。（4 月 1 日） ○開館 1 周年記念式典その他の記念事業実施。（8 月 1 日）
H9	○館における県政文書の収集及び選別作業を効率的に行うため、「沖縄県公文書館県政文書収集基準」（館長決裁）を定め、「沖縄県文書編集保存規程」改正により、廃棄の決定をした文書について、全て公文書館長へ引渡すのでなく、知事が別に定めるものを除いて公文書館長へ引渡さなければならないこととする。（4 月 1 日） ○国立国会図書館と「アメリカ合衆国国立公文書館所蔵沖縄占領関係資料の収集に関する覚書」を結び、共同で収集事業開始。（平成 9 年 12 月 17 日～平成 14 年 3 月 31 日まで）米国駐在員は平成 17 年度まで配置し在米資料収集。
H10	○「沖縄県公文書館参与設置規程」施行。（4 月 1 日） ○「沖縄県公文書館資料収集基準」制定（館長決裁）。（4 月 1 日） ○公文書館ホームページ開設。（7 月 1 日） ○全国歴史資料保存機関連絡協議会第 24 回全国大会を開催（全史料協と共催。那覇市、11 月 11 日～ 13 日）。 ○国立国会図書館と共同して収集した USCAR 文書の公開開始。（11 月 4 日）
H11	○公文書館業務運営の指針として「沖縄県公文書館業務基本体系」（館長決裁）を定め、「公文書館の業務は、資料の収集・選別にあたって、行政の記録センターとして機能し得るよう、後世の評価に堪える適正さをもって行われなければならない」とする。（平成 12 年 3 月 31 日）
H12	○開館 5 周年記念事業実施。（8 月 1 日） ○「沖縄県公文書館友の会」発足。（8 月 1 日）

	主要事項
H13	○沖縄県緊急雇用対策特別事業として、公文書等デジタル化事業（米国収集写真資料）を実施。（平成 14 ～平成 15 年度も沖縄県緊急地域雇用創出特別事業として継続） ○「沖縄県情報公開条例」全部改正施行により、「沖縄県公文書館その他知事が規則で定める機関において、歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料として特別の管理がされているもの」の適用除外が明記される。（平成 14 年 1 月 1 日）
H14	○日本復帰 30 周年記念特別展「資料に見る沖縄の歴史」開催。 平良市・石垣市でも巡回展。（5 月 1 日～ 7 月 14 日）
H15	○「琉球政府文書総合整理保存計画」開始。 ○沖縄県緊急地域雇用創出特別事業として「琉球政府文書保存状態調査事業」実施。（～平成 16 年度）
H16	○沖縄県公文書館運営懇話会が「沖縄県公文書館の管理運営に関する意見について」館長に提言。（9 月 16 日）
H17	○「琉球政府文書緊急保存措置事業」開始。（～平成 24 年度） ○「都道府県・政令指定都市等公文書館長会議」の受入れ。（国立公文書館主催。那覇市、6 月 2 日） ○開館 10 周年記念特別企画展「公文書等の記録資料に見る沖縄戦―アイスバーグ作戦」の開催。（ 8 月 2 日～ 10 月 2 日） ○開館 10 周年記念シンポジウム「琉球政府の記録から何を学ぶか」開催。（当館講堂、平成 18 年 2 月 4 日）
H18	○「沖縄県公文書館参与設置規程」廃止。（4 月 1 日） ○「沖縄県公文書館運営基本方針」制定。（総務部長決定）（8 月 25 日）
H19	○「沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例」改正により、公文書館の管理を管理委託制度から指定管理者制度へ変更。（財）沖縄県文化振興会が第 1 期指定管理者となる。（4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日） ○「沖縄県公文書館管理規則」改正、指定管理者に関すること、また、個人の秘密の保持その他の合理的な理由により利用に供することが適当でない公文書等について規定。（4 月 1 日） ○「沖縄県公文書館公文書等管理規程」施行。（4 月 1 日）
H21	○「沖縄県公文書館管理規則」の改正により、指定管理者が文書等の寄贈を受け、また、公文書等の出版物等掲載の許可を行うこととなった。（平成 22 年 1 月 1 日）
H22	○（財）沖縄県文化振興会が第 2 期指定管理者となる。（4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）
H23	○「沖縄県公文書館友の会」休会。 ○「公文書館機能普及セミナー in 沖縄」開催。（全史料協と共催。当館講堂、7 月 8 日）
H24	○日本復帰 40 周年記念特別展「日本復帰への道」開催。（5 月 15 日～ 8 月 19 日）
H25	○（公財）沖縄県文化振興会が第 3 期指定管理者となる。（4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日） ○沖縄振興特別推進交付金事業として「琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業」開始。（平成 33 年度まで継続予定） ○県から（公財）沖縄県文化振興会への公文書主任専門員派遣が終了。

2　歴代館長

初代　津嘉山朝之

H7年4月1日～H7年7月22日



第2代　宮城悦二郎

H7年7月23日～H11年3月31日



第3代　當山善堂

H11年4月1日～H12年3月31日



第4代　仲村洋子

H12年4月1日～H13年3月31日



第5代　宮城保

H13年4月1日～H14年3月31日



第6代　山田義人

H14年4月1日～H17年3月31日



第7代　長田勉

H17年4月1日～H18年3月31日



第8代　伊波謙

H18年4月1日～H19年3月31日



第9代　伊佐嘉一郎

H19年4月1日～H20年3月31日



第10代　本間勝

H20年4月1日～H23年3月31日



第11代　久田裕

H23年4月1日～H24年3月31日



第12代　本間勝

H24年4月1日～H27年6月24日



3　予算と決算

■公文書館管理運営費（単位：千円）

	予算額 （うち公文書館業務運営委託料）	決算額
H7	351,370　－	346,537
H8	407,187　（249,884）	405,096
H9	417,622　（263,570）	413,757
H10	294,680　（186,183）	293,862
H11	271,979　（159,398）	266,620
H12	267,469　（158,082）	258,358
H13	262,043　（162,265）	287,928
H14	311,062　（183,880）	309,271
H15	296,755　（165,715）	311,191
H16	252,102　（161,120）	265,671
H17	266,154　（178,108）	246,345
H18	256,101　（155,820）	253,297

■沖縄県公文書館指定管理料（単位：千円）

	予算額	決算額
H19	226,997	212,954
H20	228,567	222,810
H21	229,000	226,653
H22	221,588	217,481
H23	221,588	215,391
H24	221,588	214,145
H25	218,427	214,757
H26	212,196	212,178

■公文書等の保存・活用に関する委託事業費

（単位：千円）

○公文書等デジタル化事業費

H13	17,109
H14	34,198
H15	34,218

○琉球政府文書保存状態調査事業費

H15	17,630
H16	15,281

○琉球政府文書緊急保存措置事業費

H17	19,344
H18	16,942
H19	13,180
H20	10,544
H21	9,489
H22	8,540
H23	7,686
H24	8,540

○沖縄県被災者就労支援事業費

（USCAR 文書マイクロフィルムデジタル化）

H24	2,727

○琉球政府文書デジタル・
アーカイブズ推進事業費

H25	16,760
H26	66,794

4　業務管理運営体制

○平成 8 年度から 18 年度まで、当館業務の一部を（財）沖縄県文化振興会に委託した。平成 19 年度以降は同財団を指定管理者に選定している。
○事業者の体制には、当館業務担当のみを記載している。
○各年の組織はすべて 4 月 1 日現在のものである。

H7

沖縄県公文書館

館長
副館長兼総務課長
総務課
資料課
定員 19（うち非常勤 10）

H8

沖縄県公文書館

館長
参事兼副館長兼総務課長
総務課
資料課
定員 5

業務委託

（財）沖縄県文化振興会

特命理事
参事監
参事
公文書館管理部長兼公文書館総務課長
資料第 1 課
資料第 2 課

≪内訳≫
県派遣・併任職員　16 人
財団職員　32 人
（うち非常勤　29 人）
計　48 人

H9

沖縄県公文書館

館長
参事兼副館長兼総務課長
総務課
資料課
定員 5

業務委託

（財）沖縄県文化振興会

特命理事
参事監
参事
公文書館管理部長兼公文書館総務課長
資料第 1 課
資料第 2 課

≪内訳≫
県派遣・併任職員　14 人
財団職員　31 人
（うち非常勤　29 人）
計　45 人

H10

沖縄県公文書館

館長
公文書参与
参事兼副館長兼総務課長
総務課
資料課
定員 6

業務委託

（財）沖縄県文化振興会

理事
公文書館管理部長兼公文書館総務課長
副参事
公文書館総務課
公文書館資料第 1 課
公文書館資料第 2 課

≪内訳≫
県派遣・併任職員　13 人
財団職員　27 人
（うち非常勤　22 人）
計　40 人

H11

沖縄県公文書館

参事監兼館長
公文書参与
副館長兼総務課長
総務課
資料課
定員 6

業務委託

（財）沖縄県文化振興会

理事
公文書管理部長兼公文書総務課長
公文書総務課
公文書資料第 1 課
公文書資料第 2 課

≪内訳≫
県派遣・併任職員　13 人
財団職員　21 人
（うち非常勤　16 人）
計　34 人

H12

沖縄県公文書館	業務委託	（財）沖縄県文化振興会	
館長 公文書参与 副館長兼総務課長 総務課 資料課 定員 5		理事 公文書管理部長兼公文書総務課長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 12 人 財団職員 22 人 （うち非常勤 17 人） 計 34 人

H13

沖縄県公文書館	業務委託	（財）沖縄県文化振興会	
館長 公文書参与 副館長兼総務課長 総務課 資料課 定員 6		理事 公文書管理部長兼公文書総務課長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 11 人 財団職員 21 人 （うち非常勤 16 人） 計 32 人

H14

沖縄県公文書館	業務委託	（財）沖縄県文化振興会	
館長 公文書参与 副館長兼総務課長 副参事 総務課 資料課 定員 6		理事 公文書管理部長兼公文書総務課長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 11 人 財団職員 21 人 （うち非常勤 16 人） 計 32 人

H15

沖縄県公文書館	業務委託	（財）沖縄県文化振興会	
館長 公文書参与 副館長兼総務課長 副参事 総務課 資料課 定員 6		理事 公文書管理部長兼公文書総務課長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 11 人 財団職員 22 人 （うち非常勤 17 人） 計 33 人

H16

沖縄県公文書館	業務委託	（財）沖縄県文化振興会	
館長 副館長兼総務課長 副参事 総務課 資料課 定員 5		理事 公文書管理部長兼公文書総務課長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 12 人 財団職員 22 人 （うち非常勤 17 人） 計 34 人

H17

沖縄県公文書館		(財)沖縄県文化振興会	
館長 副館長兼総務課長 副参事 総務課 資料課 定員 7	業務委託	理事 公文書管理部長兼公文書総務課長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 13 人 財団職員 22 人 （うち非常勤 17 人） 計 35 人

H18

沖縄県公文書館		(財)沖縄県文化振興会	
参事兼館長 副参事 主幹 公文書主任専門員 主査 定員 6	業務委託	公文書管理部長 公文書総務課 資料第 1 課 資料第 2 課	≪内訳≫ 県派遣・併任職員 12 人 財団職員 22 人 （うち非常勤 17 人） 計 34 人

H19

沖縄県		(財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	（館長）常務理事 （副館長）総務企画課長 総務企画課 資料課	≪内訳≫ 県派遣職員 9 人 財団職員 24 人 （うち非常勤 17 人） 計 33 人

H20

沖縄県		(財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	（館長）常務理事 （副館長）総務企画課長 総務企画課 資料課	≪内訳≫ 県派遣職員 9 人 財団職員 27 人 （うち非常勤 22 人） 計 36 人

H21

沖縄県		(財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	（館長）常務理事 （副館長）総務企画課長 総務企画課 資料課	≪内訳≫ 県派遣職員 9 人 財団職員 28 人 （うち非常勤 23 人） 計 37 人

H22

沖縄県		(財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	(館長) 常務理事 (副館長) 公文書管理課長 総務企画課 公文書管理課	≪内訳≫ 県派遣職員　9 人 財団職員　23 人 (うち非常勤　18 人) 計　32 人

H23

沖縄県		(公財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	(館長) 常務理事 (副館長) 公文書管理課長 総務企画課 公文書管理課	≪内訳≫ 県派遣職員　8 人 財団職員　24 人 (うち非常勤　19 人) 計　32 人

H24

沖縄県		(公財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	(館長) 常務理事 (副館長) 公文書管理課長 総務企画課 公文書管理課	≪内訳≫ 県派遣職員　7 人 財団職員　25 人 (うち非常勤　20 人) 計　32 人

H25

沖縄県		(公財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	(館長) 常務理事 (副館長) 公文書管理課長 総務企画課 公文書管理課	≪内訳≫ 県派遣職員　5 人 財団職員　24 人 (うち非常勤　19 人) 計　29 人

H26

沖縄県		(公財)沖縄県文化振興会	
所管　総務部総務私学課	指定管理	(館長) 常務理事 (副館長) 公文書管理課長 公文書管理課	≪内訳≫ 県派遣職員　2 人 財団職員　33 人 (うち非常勤　28 人) 計　35 人

5　運営基本方針

（平成 18 年 8 月 25 日総務部長決定）

沖縄県が設置する公の施設としての沖縄県公文書館（以下「公文書館」という。）の業務について、次のとおり、その運営の基本方針、施策体系その他運営に関し必要な事項を定める。

第 1　公文書館の運営に当たっての基本的事項

公文書館は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例（平成 7 年沖縄県条例第 6 号。以下「条例」という。）に基づき、歴史資料として重要な公文書その他の記録を収集し、整理し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の振興に寄与することを目的として設置する公の施設であることを踏まえ、この基本方針に定めるところにより運営する。

第 2　公文書館運営の基本方針

公文書等は、行政活動の過程で作成され、その目的が達成された後において一定期間保存された上で、廃棄処分が決定され、現用文書としての役割を終えることになる。公文書館は、これら役割を果たした文書その他の記録の中から歴史資料として重要な公文書等を収集し整理し保存するとともに、県民の利用に供することを目的として設置されたものである。

公文書館の業務は、資料の収集・選別にあたって、行政の記録センターとして機能し得るよう後世の評価に堪える適正さをもって行わなければならない。このような視点から、資料については、沖縄県文書を中心に収集するとともに、県民の円滑な利用に供することができるよう的確に整理するほか、収蔵資料の恒久的保存を図るものとする。

また、公文書館の利用・普及を図るため目録を整備するほか、公文書等を県民が効率よく利用できるよう検索システム等を整備し、資料の電子情報化を図るとともに、企画展、講演会及び講座を開催し、公文書館に対する県民の理解を深める事業を展開する。

第 3　公文書館の施策体系

公文書館は、条例、沖縄県公文書館管理規則（平成 7 年沖縄県規則第 50 号）、沖縄県公文書館公文書等管理規程（平成 18 年沖縄県告示第 593 号）その他公文書館の管理運営に関する規程に基づき、基本方針に定めるところにより、次に掲げる体系によって施策を実施する。

1　歴史資料として重要な公文書等の収集・整理

（1）資料の調査研究

（2）資料の収集及び整理

（3）資料目録等の刊行

2　公文書等の保存

（1）公文書等の保存及び修復

（2）資料のデジタル化

（3）貴重な資料の複製

3　県民への普及活動

（1）展示会、講演会、講座等の開催

（2）検索・利用システムの向上

（3）公文書館業務の広報等

4　その他公文書館の設置の目的を達成するための施策

第 4　運営に当たっての留意事項

公の施設として設置された公文書館は、その設置の目的を効果的に達成するために必要な施策を展開し、公文書等を県民の利用に供し、もって県民の学術及び文化の振興に寄与することを旨として運用されるべきものである。

公文書館が収集する沖縄県文書が歴史資料として後世に引き継がれ、その利用に供されることが公文書館の設置の目的にかんがみ極めて重要であることから、収集する公文書等が後世の利用に供されるための整理及び保存も重要な責務である。

このことから、公文書館がこれまでに収集した資料等に関し、収集及び整理に関する基準に基づき改めて評価選別を行うとともに、歴史資料として貴重な公文書等を後世に引き継ぐために必要な保存の措置を講ずることが喫緊の課題である。

特に、厳しい行財政環境の下において、今後の公文書館の運営に当たっては、博物館等の類似の機能を有し、また類似の事業を展開する公の施設との機能や業務の競合を避け、公文書館が担うべき事務事業を選択し、公文書館の設置の目的を踏まえた施策に集中していくことが必要となっている。

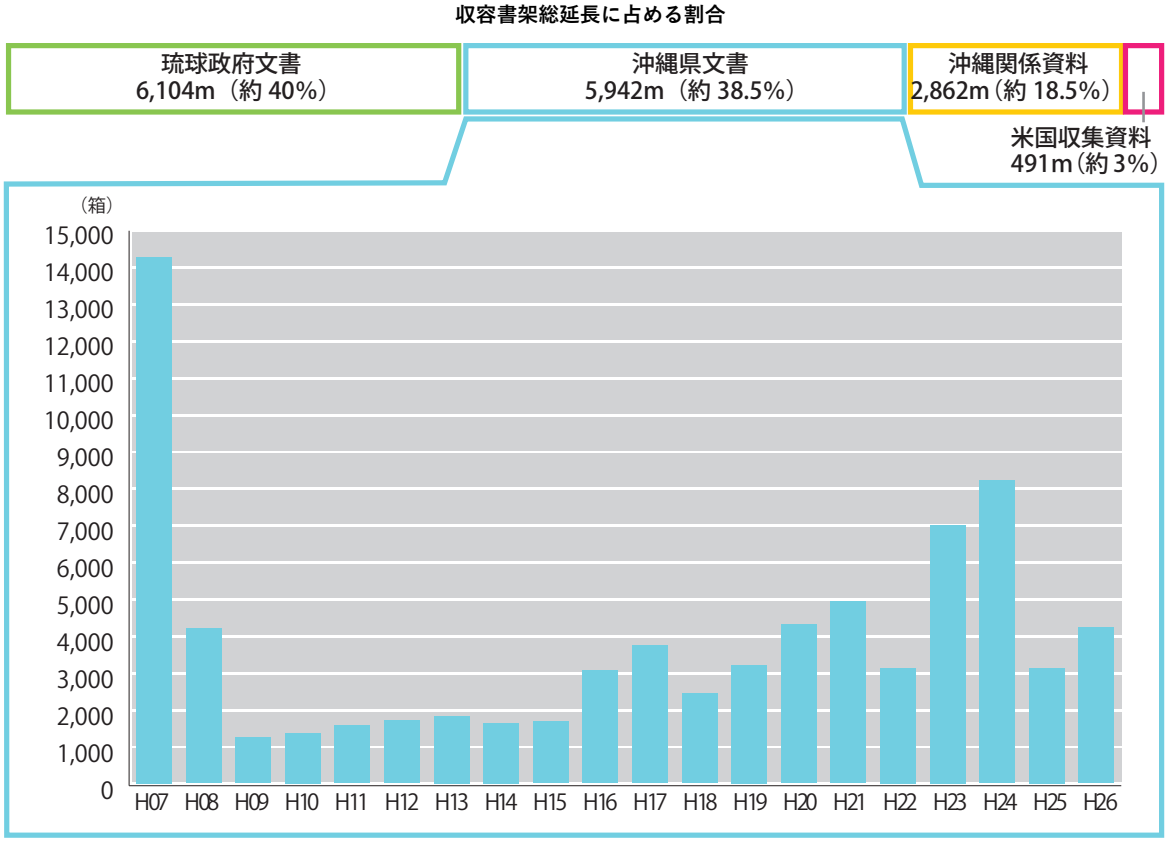
以上のことを踏まえ、公文書館の運営については、沖縄県文書を収集し、沖縄県文書のうち歴史資料として価値のあるものを整理し、及び保存することを主たる事業として展開することが必要であるとともに、これまで収集し保存している資料等についても改めて歴史資料としての価値を評価し後世に引き継ぐべき公文書等を選別していくことに重点を置いて事業を展開する。

（附則）

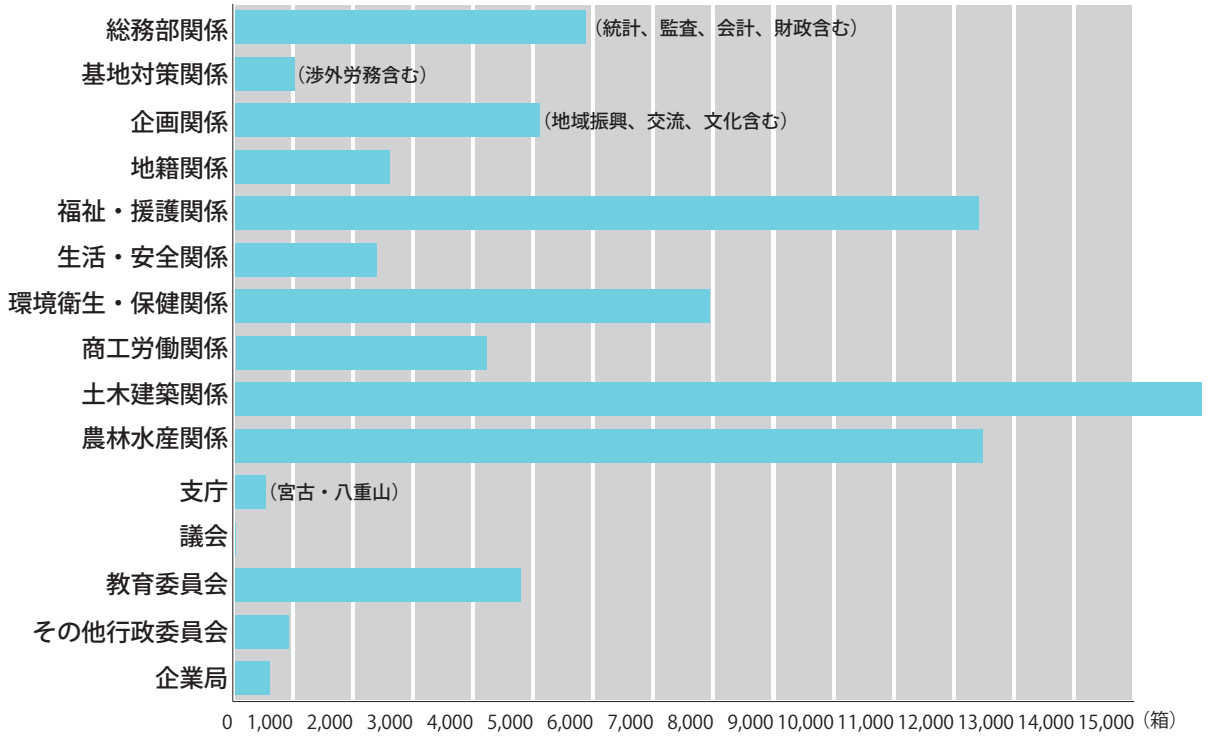
この基本方針は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

第２　業務実績
H17 ～ H26

1　収集・評価選別・整理業務

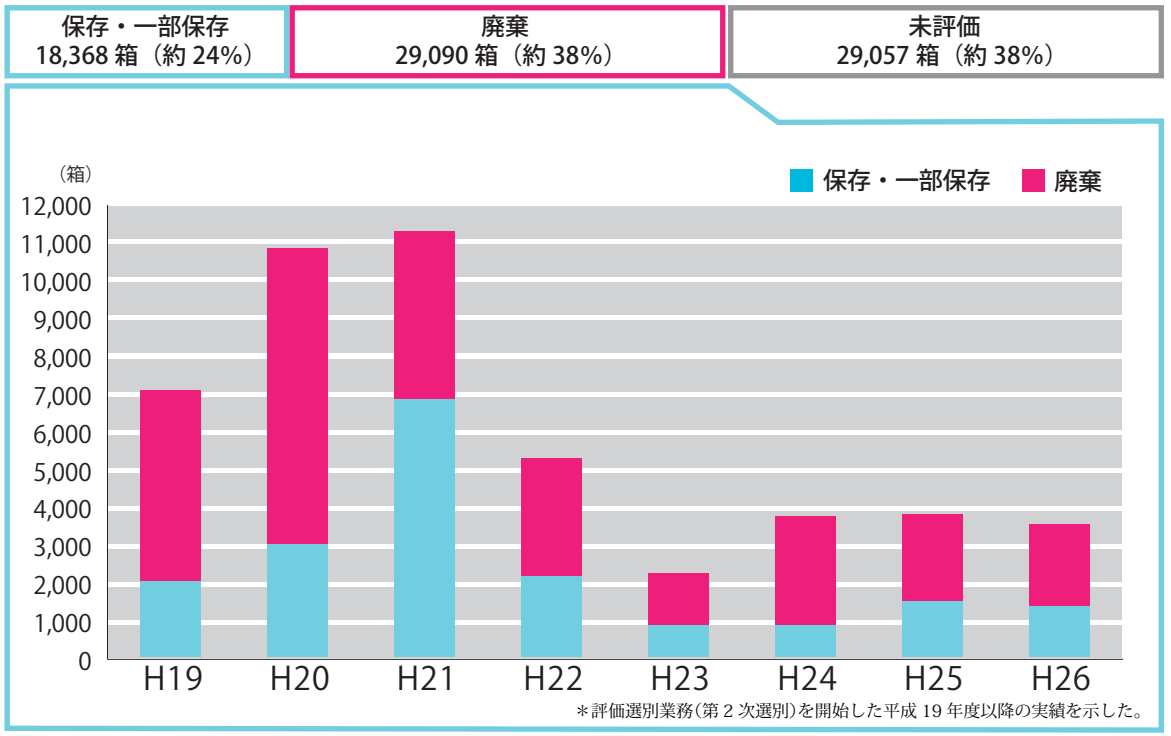


1 － 1　資料群別所蔵状況と沖縄県文書の受入れ箱数の推移



1 － 2　沖縄県文書の内容別受入れ状況

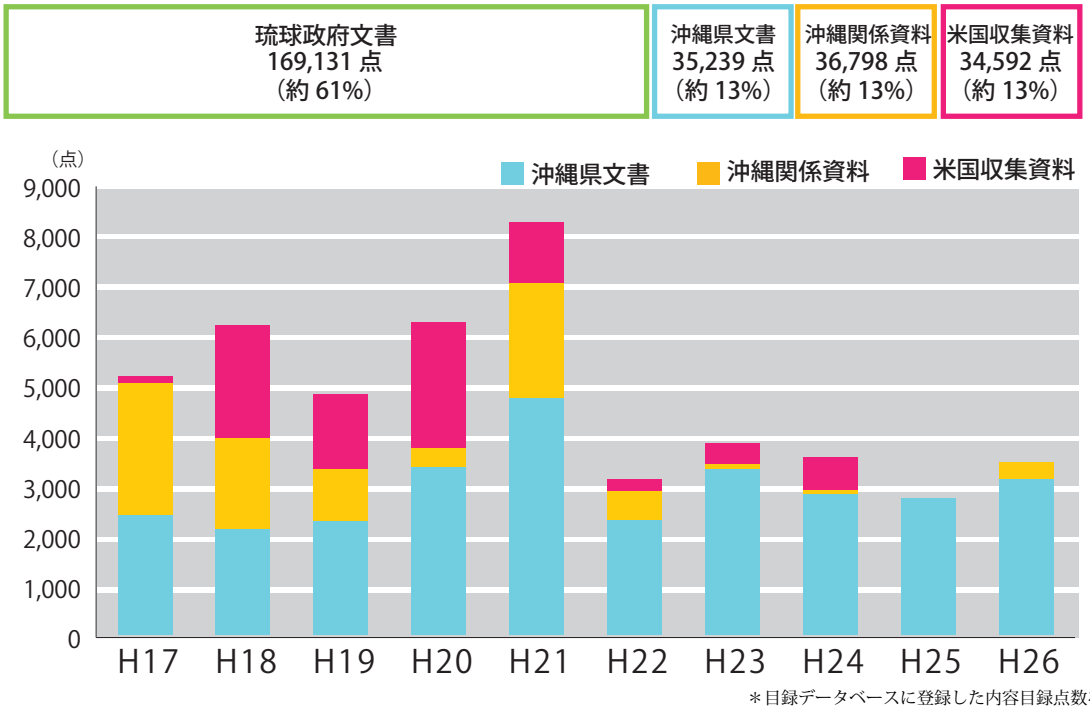
H7 ～ H26 までの全受入れ箱数に対する評価選別状況



＊評価選別業務（第 2 次選別）を開始した平成 19 年度以降の実績を示した。

1 － 3　沖縄県文書の評価選別実施状況

H7 ～ H26 までの全目録公開点数に対する割合



＊目録データベースに登録した内容目録点数を示した。
（琉球政府文書は平成 16 年度以前に登録済みである）

1 － 4　資料群別目録公開状況

2　保存修復・複製業務

2 － 1　保存修復作業実施状況

	対象資料（点数）	作業内容（資料点数）				修復内容　（枚数）				
		劣化調査	修復	製本	保存容器の作成	クリーニング	簡易補修	脱酸処理	裏打ち等	リーフキャスティング
H17	117	16	117	26	39	208	1,498	172	94	17
H18	215	28	89	27	126	696	752	300	160	0
H19	155	30	144	23	6	1,089	3,303	1,051	226	0
H20	204	2	204	63	5	135	4,752	32	113	0
H21	134	0	134	52	0	0	2,951	0	0	0
H22	76	2	74	14	2	139	2,192	0	19	0
H23	87	15	85	16	2	0	6,323	5	5	0
H24	118	1	117	49	15	40	2,885	0	32	4,920
H25	539	3	537	42	3	1,140	3,134	0	0	0
H26	139	0	139	87	4	7,708	3,132	0	0	0
計	1,784	97	1,640	399	202	11,155	30,922	1,560	649	4,937

2 － 2　修復作業　主な実績

（外部委託分も含む）

	対象資料
H17	琉球政府文書（強劣化資料 25 簿冊）
H18	琉球政府文書（強劣化資料 31 簿冊）　一筆地調査図（2,724 枚）＊ H17 分も含む
H19	琉球政府文書（強劣化資料 32 簿冊）　一筆地調査図（2,040 枚）　ベッテルハイムの日記及び書簡（3 簿冊）
H20	琉球政府文書（強劣化資料 15 簿冊）　恩給関係文書（7 簿冊）　一筆地調査図（3,665 枚）
H21	恩給関係文書（70 簿冊）　一筆地調査図（2,276 枚）
H22	恩給関係文書（50 簿冊）　一筆地調査図（1,581 枚）
H23	恩給関係文書（58 簿冊）　一筆地調査図（1,538 枚）　地租名寄帳（15 簿冊全 4,400 枚）
H24	陸軍兵籍簿（20 簿冊）　　一筆地調査図（1,546 枚）　地租名寄帳（15 簿冊全 4,920 枚）
H25	一筆地調査図（2,976 枚）　陸軍兵籍簿（4 簿冊）
H26	陸軍兵籍簿（3 簿冊）

2 － 3　マイクロフィルムへの代替化　主な実績

（単位：コマ）

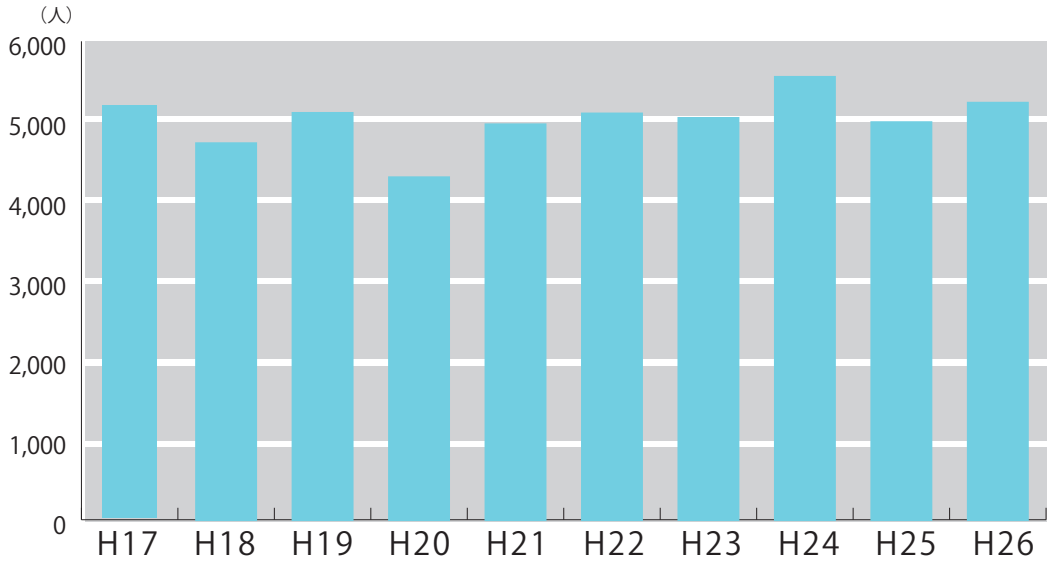
	マイクロ化の内容
H17	琉球政府文書（268,565）　屋良朝苗日誌（16,963）
H18	琉球政府文書（198,124）　沖縄関係資料（ベッテルハイムの日記等）（699）
H19	琉球政府文書（234,962）　一筆地調査図（3,098） 沖縄関係資料（ベッテルハイムの日記等）（715）
H20	琉球政府文書（195,390）　一筆地調査図（3,013）
H21	琉球政府文書（234,415）　一筆地調査図（4,999）
H22	琉球政府文書（90,321）　一筆地調査図（815）
H23	琉球政府文書（27,939）　恩給関係文書（12,281） 一筆地調査図（2,920）　土地整理事業関係文書（7,363）
H24	琉球政府文書（44,173）　恩給関係文書（8,237） 一筆地調査図（3,342）
H25	恩給関係文書（8,804）　陸軍兵籍簿（16,556）

2 － 4　デジタルデータへの代替化　主な実績

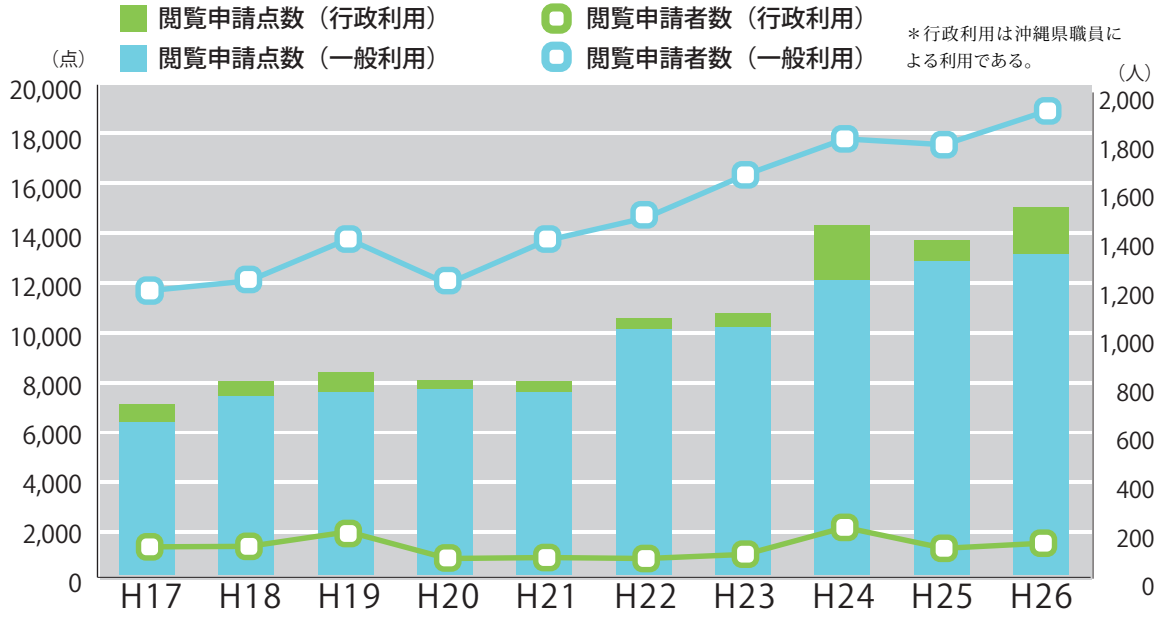
（単位：ファイル）

	デジタル化の内容
H19	米国国立公文書館から収集した写真ネガ（1,048）および映像フィルム（34） 沖縄戦証言記録カセットテープ（152）
H20	米国国立公文書館から収集した USCAR 公安局文書マイクロフィルム（150,332） 琉球政府文書マイクロフィルム（120,000） 沖縄戦証言記録オープンリール（37）
H21	米国国立公文書館から収集した沖縄戦関係写真（1,309） 屋良朝苗日誌（16,827）
H22	沖縄県から受け入れた広報写真資料（5,625） 琉球政府文書マイクロフィルム（17,964）
H23	米国国立公文書館から収集した USCAR 法務局文書マイクロフィルム（1,056,026） 一筆地調査図（1,015）
H25	一筆地調査図（5,018）　琉球政府文書（384,010） 米国国立公文書館から収集した USCAR 文書（法務局、公安局以外）マイクロフィルム（2,278,615）
H26	一筆地調査図（3,175）　陸軍兵籍簿（6,064） 沖縄県から受け入れた広報音声資料 8㎜音声磁気テープ（125）

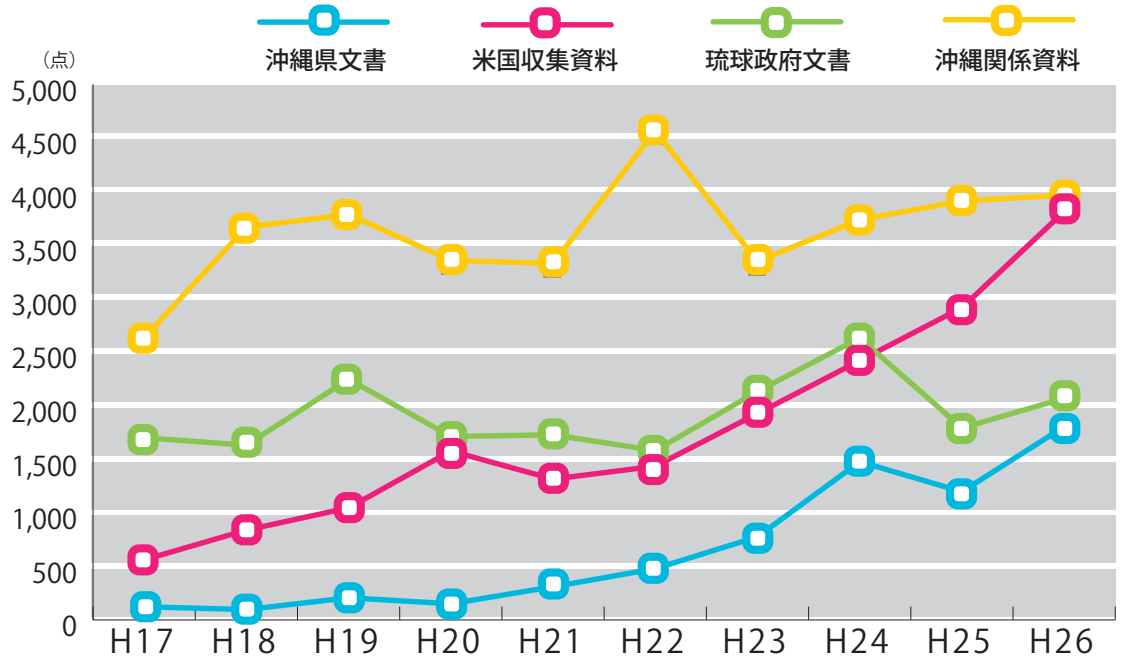
3　閲覧業務



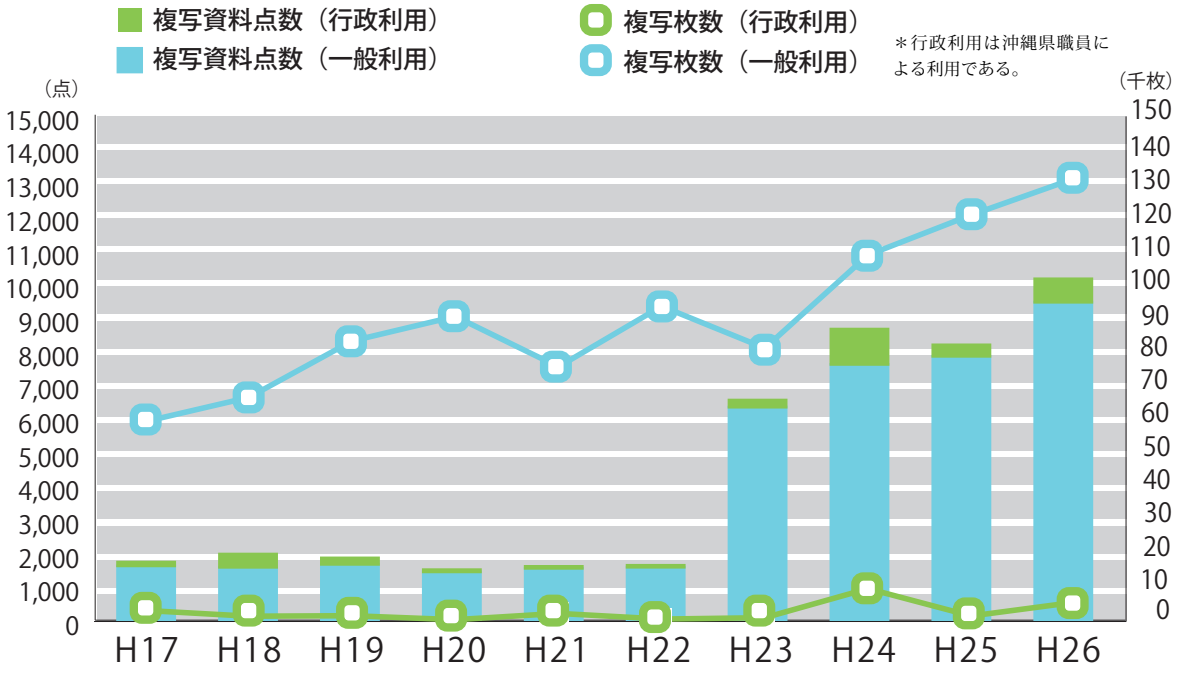
3 － 1　閲覧室入室者数の推移



3 － 2　閲覧申請点数および閲覧申請者数の推移

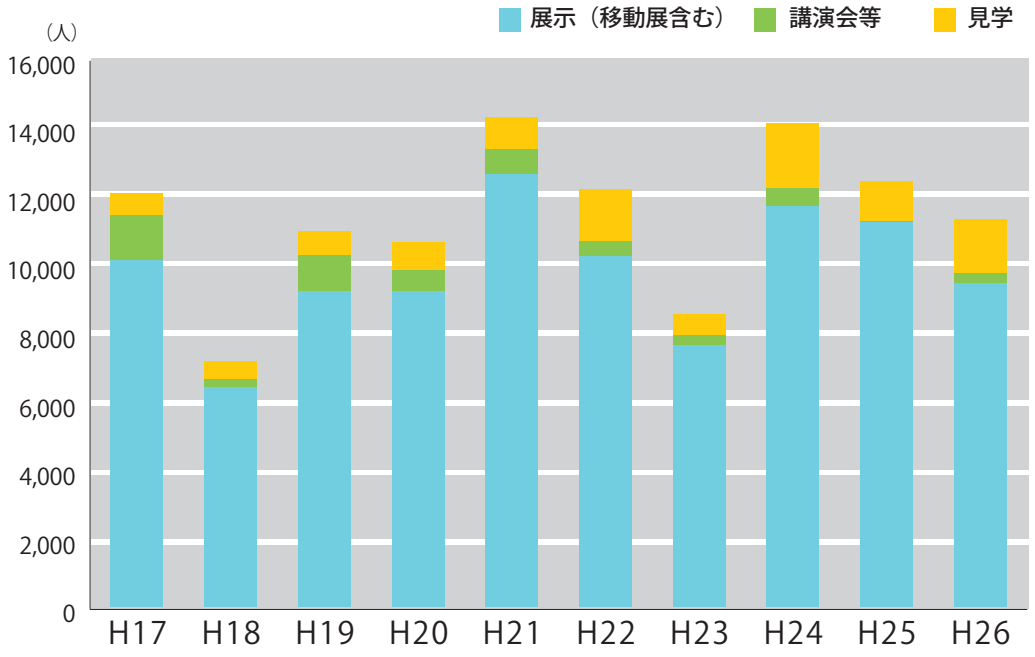


3 － 3　資料群別閲覧申請点数の推移

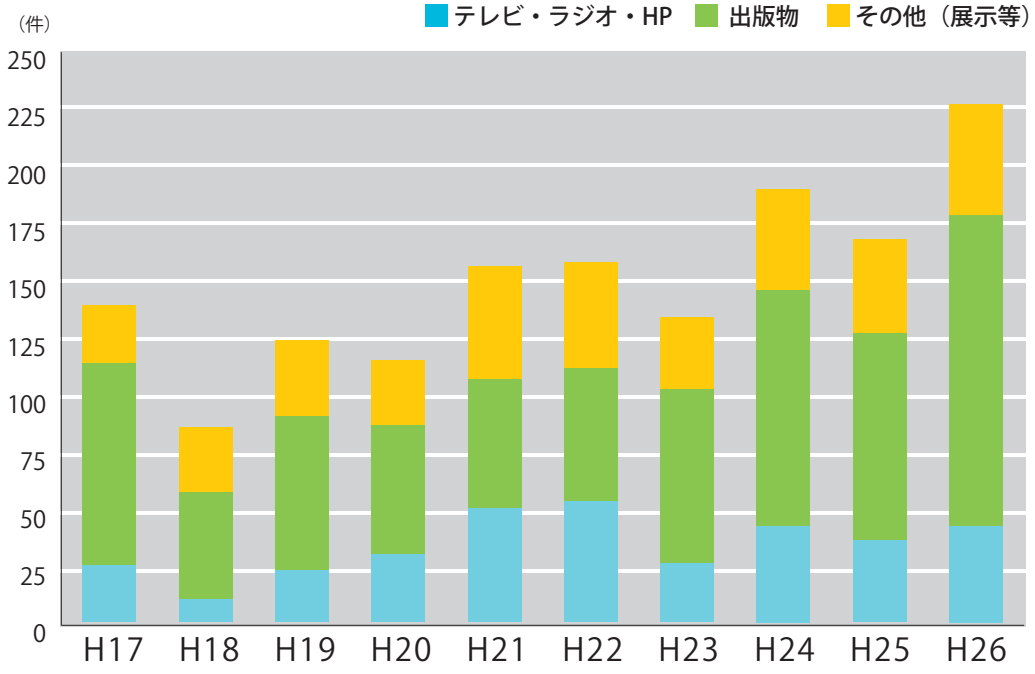


3 － 4　複写資料点数と複写枚数の推移

4　普及業務



4 － 1　普及行事等参加者数の推移

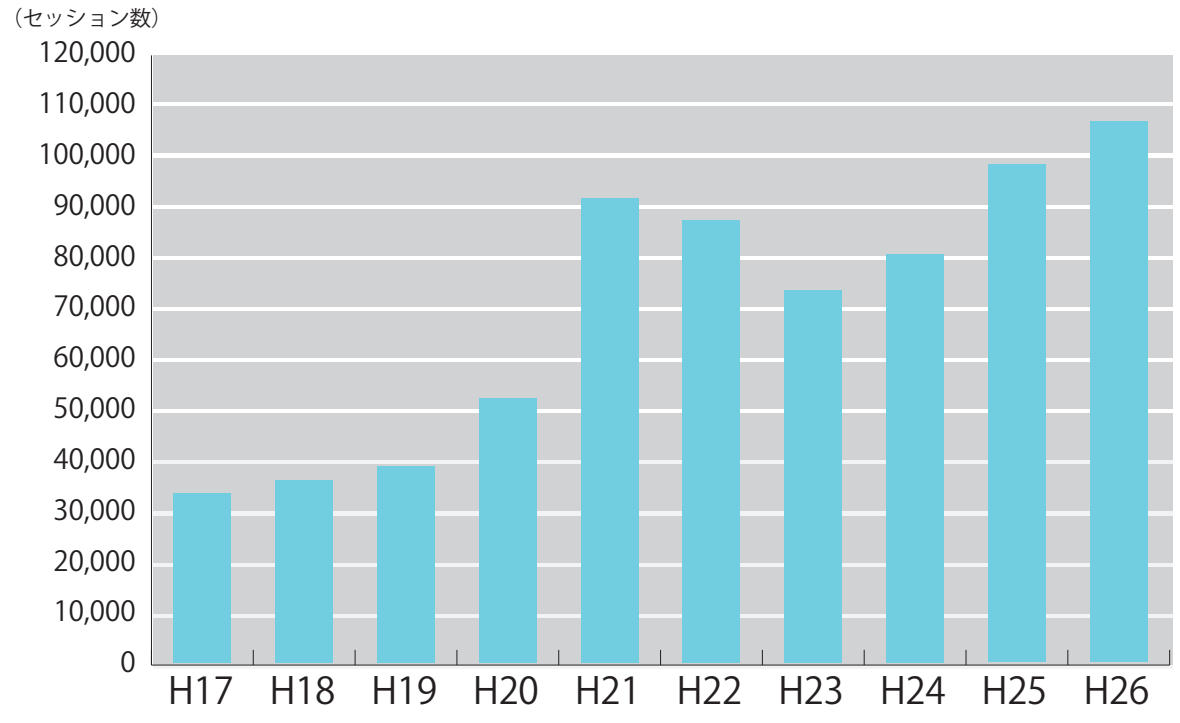


＊閲覧・複写申請の状況は、３閲覧業務に掲載。

4 － 2　所蔵資料の利用状況（出版物等掲載その他）

4 － 3　ホームページの画像データベース追加実績

	デジタル化の内容
H18	琉球政府等公報（琉球臨時中央政府、群島政府及び民政府等発行分も含む）3,297 頁
H19	沖縄県公報（昭和 47 年 5 月 15 日から昭和 54 年 12 月末までの発行分）20,000 頁 米国国立公文書館から収集した米国海兵隊写真 1,373 枚
H20	沖縄県公報（昭和 55 年から平成 6 年発行分）37,136 頁 米国国立公文書館から収集した米国海兵隊写真 960 枚および映像コンテンツ 199 本
H21	沖縄県公報（平成 7 年から平成 20 年まで発行分）36,465 頁 米国国立公文書館から収集した米国海兵隊写真 1,597 枚
H22	沖縄県公報（平成 21 年発行分）2,631 頁 米国国立公文書館から収集した沖縄戦関係写真 951 枚
H23	米国国立公文書館から収集した沖縄戦関係写真 369 枚およびサイパン関係写真 39 枚 沖縄県公報（平成 22 年発行分）2,082 頁
H24	米国国立公文書館から収集した文書（216,573 コマ）　琉球政府文書 39 簿冊（3,941 コマ） 沖縄県公報（平成 23 年発行分）1,967 頁
H25	沖縄県公報（平成 24 年発行分）2,150 頁 『行政記録』統合版第 4 巻（昭和 50 年～ 54 年）および第 5 巻（昭和 55 年～昭和 59 年）1,359 頁
H26	沖縄県公報（平成 25 年発行分）2,905 頁　戦後初期琉球民政機構会議録 3,919 頁



4 － 4　ホームページアクセス数の推移

4 － 5　展示会実施状況

		展示会名	会期			来場者（人）
H17	常設展	沖縄県公文書館の収蔵資料	4 月 5 日	～	7 月17 日	4,541
			10 月18 日	～	H18 3 月31 日	
	企画展	公文書等の記録資料に見る沖縄戦 アイスバーグ作戦	8 月 2 日	～	10 月 2 日	2,982
	移動展	沖縄戦と戦後復興 （那覇市パレットくもじ）	12 月 7 日	～	12 月12 日	2,584
H18	常設展	沖縄県公文書館の収蔵資料	4 月11 日	～	9 月 3 日	6,390
			9 月12 日	～	H19 3 月31 日	
H19	常設展	沖縄県公文書館の収蔵資料	4 月 1 日	～	9 月22 日	7,247
			10 月 2 日	～	H20 3 月30 日	
	移動展	映像と写真が語る宮古 （宮古島市総合博物館）	11 月20 日	～	11 月30 日	1,953
H20	常設展	沖縄県公文書館の収蔵資料 ミニ企画　移民　海を渡った先人たち	4 月 8 日	～	9 月28 日	4,127
	常設展	記録なくして歴史なし 特別企画　キャラウェイ旋風	10 月 7 日	～	H21 3 月29 日	4,239
	移動展	タイムトリップ八重山―沖縄県公文書館収蔵資料で振り返るあの頃（石垣市立図書館）	11 月 5 日	～	11 月16 日	833
H21	常設展	記録なくして歴史なしⅡ 特別企画　スパイ・アイランド・オキナワ	4 月14 日	～	7 月19 日	3,210
	企画展	オペレーション・レッド・ハット 1971 ～ 沖縄をゆるがした毒ガス移送	8 月 4 日	～	10 月 4 日	2,675
	常設展	深く掘れ、己の胸中の泉 特別企画　海の沖縄戦	10 月20 日	～	H22 3 月31 日	6,323
	移動展	写真と映像にみるうるま市の戦後 レッドハット作戦～うるま市を走り抜けた毒ガス移送のトラック （うるま市立石川歴史民俗資料館）	2 月 2 日	～	2 月14 日	397
H22	常設展	深く掘れ、己の胸中の泉 特別企画　海の沖縄戦	4 月 1 日	～	6 月27 日	3,820
	常設展	公文書がつなぐ過去と未来 ミニ企画　写真が語る沖縄	7 月13 日	～	12 月26 日	4,322
	常設展	公文書がつなぐ過去と未来 ミニ企画　沖縄の地籍調査	H23 1 月11 日	～	3 月31 日	2,077

		展示会名	会期			来場者（人）
H22	地域パネル展	海の沖縄戦 （沖縄県平和祈念資料館）	6 月　1 日	～	6 月　6 日	
	地域パネル展	写真が語る読谷村 （読谷村文化センターギャラリー）	12 月 10 日	～	12 月 15 日	
	地域パネル展	沖縄の地籍調査 （沖縄県中部合同庁舎 1 階ロビー）	H23 2 月 14 日	～	2 月 18 日	
H23	常設展	公文書がつなぐ過去と未来 ミニ企画　沖縄の地籍調査	4 月　1 日	～	6 月 26 日	2,009
	常設展	公文書がつなぐ過去と未来 ミニ企画　在外同胞～世紀を越えた移民たち～	7 月 16 日	～	H24 3 月 31 日	5,618
H24	常設展	公文書がつなぐ過去と未来 ミニ企画　在外同胞～世紀を越えた移民たち～	4 月　1 日	～	4 月 25 日	565
	企画展	日本復帰 40 周年記念特別企画展 日本復帰への道	5 月 15 日	～	8 月 19 日	6,719
	常設展	沖縄県のあゆみ ミニ企画　琉球政府厚生局のお仕事	9 月　4 日	～	H25 3 月 31 日	4,407
H25	常設展	沖縄県のあゆみ ミニ企画　琉球政府厚生局のお仕事	4 月　2 日	～	6 月 16 日	1,880
	常設展	沖縄県のあゆみ	6 月 22 日	～	12 月　1 日	4,973
	移動展	資料にみる宜野湾市の戦後 （宜野湾市立博物館）	9 月 11 日	～	9 月 29 日	636
	常設展	沖縄県のあゆみ ミニ企画　写真に見る近代の沖縄	12 月 17 日	～	H26 3 月 30 日	2,861
	移動展	公文書館資料に見るあの頃の伊江島 （伊江村農村環境改善センター）	H26 2 月 19 日	～	3 月　2 日	851
H26	常設展	沖縄県のあゆみ ミニ企画　写真に見る近代の沖縄	4 月　1 日	～	6 月 29 日	3,092
	常設展	公文書館の仕事―記録を残す、記憶をつなぐ ミニ企画 1964 年　沖縄をかけぬけた聖火リレー	7 月 15 日	～	H27 1 月 18 日	4,132
	常設展	公文書館の仕事―記録を残す、記憶をつなぐ ミニ企画　旅人たちが撮った沖縄	H27 2 月　3 日	～	3 月 31 日	2,010
	移動展	公文書館所蔵資料にみる南大東島の歴史 （南大東村立ふるさと文化センター）	H27 2 月 20 日	～	2 月 22 日	201

4 － 6　講演会、講座等実施状況

	演題	講師名	開催日	来場者（人）
H17	３回連続講座 冊封体制と琉球王国	赤嶺守	６月30日　７月 ７日 ７月14日	473
	戦場彷徨 14 日間	船越義彰	８月 ５日	133
	３回連続講座 大学生のためのアーカイブズ講座	豊見山和美 福地洋子 久部良和子	10月 ６日　10月13日 10月20日	144
	開館 10 周年記念シンポジウム 琉球政府の記録から何を学ぶか	金城功 大城将保 大城立裕 津波古充勝 恩河尚	H18 ２月 ４日	140
H18	琉球王国大航海時代のキーマンとその周辺 - 尚円を中心に	井上秀雄	７月13日	131
	地図・空中写真から読む沖縄の今昔	下地恒明	10月 ５日	100
H19	国立公文書館の公開制度・歴史公文書と 個人情報	米川恒夫	５月18日	118
	中国・薩摩は琉球をどう見たか 1･2	深澤秋人	６月29日　７月 ６日	314
	米国における政府公文書へのアクセスの保障 共催：在沖米国総領事館	マイケル・J・カーツ	８月24日	132
	おきなわ豆腐ロード	宮里千里	10月26日	86
	保存処置と修理はどう違う？	尾立和則	H20 ２月15日	87
H20	沖縄アイデンティティとは何か１・２	林泉忠	６月25日　７月 ２日	86
	どう変わる？国・地方公共団体の公文書管理 公文書館制度の充実に向けて （沖縄県庁講堂）	梅原康嗣	８月22日	132
	グスクから語る沖縄経済社会	北原秋一	10月22日	82
	沖縄の誇り美ら海	金城浩二	10月29日	60

	演題	講師名	開催日	来場者（人）
H21	米公文書活用連続講座　入門編	仲本和彦	5月27日　6月 3日 6月10日　6月17日	306
	大学生のためのアーカイブズ講座 in 琉球大学（琉球大学） 共催：琉球大学国際沖縄研究所	久部良和子 仲本和彦 吉嶺昭 福地洋子	7月 1日	30
	パネルディスカッション　沖縄県の公文書管理〜いま何をすべきか、何ができるか （沖縄県庁講堂）	後藤仁 山城正也 富永一也 豊見山和美	10月30日	142
H22	オバマ政権下における情報公開について 共催：在沖米国総領事館	トーマス・M・サスマン	6月18日	57
	後々の世んかい残さびら公文書	早川和宏	8月12日　8月13日	139
	公文書活用講座入門編 〜アーカイブズで沖縄を知る〜 （沖縄県公文書館、読谷村文化センター）	大城博光 垣花優子 久部良和子 福地洋子	12月 6日　12月13日	74
	沖縄の土地調査 （沖縄県公文書館、沖縄県中部合同庁舎）	玉城稔	H23 2月 2日　2月16日	164
H23	公文書館機能普及セミナー in 沖縄 公文書管理の現場から〜いま、私たちができること　共催：全史料協	竹内啓　新井浩文 外間より子 恩河尚　泉川良彦 呉屋美奈子 柳下宙子 富永一也	7月 8日	66
	沖縄の土地調査について （沖縄県北部合同庁舎）	玉城稔	11月 7日	26
	デジタル・アーキビスト講習会 in 沖縄 2012 共催：岐阜女子大学	仲本和彦　吉嶺昭 久世均	12月24日	66
H24	公文書管理のあるべき姿を目指して 共催：（独法）国立公文書館	中島康比古 足田晃	10月26日	32
H26	沖縄県公文書館所蔵　沖縄戦関係資料案内	仲本和彦	6月22日	86
	上映＆アーキビスト・トーク　所蔵資料が映し出す沖縄の1960年代と聖火リレー	豊見山和美	9月 7日	40
	公文書はだれのもの？ 公文書管理制度と歴史研究、民主主義	瀬畑源	11月22日	56

4 － 7　映写会実施状況

	映写会名	開催日	参加者（人）
H17	沖縄戦関係映像フィルム	6 月22 日	211
	もうひとつの沖縄戦	8 月 5 日	133
H19	大学生のためのアーカイブズ講座（沖縄国際大学）	6 月 1 日	137
	生徒のための夏休み映写会	8 月 2 日　8 月 9 日 8 月16 日　8 月23 日 8 月30 日	132
H20	記録された映像にみる「沖縄戦」を考える	6 月22 日	102
	大学生のためのアーカイブズ講座（名桜大学）	7 月 7 日	120
H21	映像にみる沖縄の戦前戦後 講師：世良利和 コメンテーター：山里将人　仲松昌次　名嘉山リサ	9 月 4 日	195
H23	常設展ミニ企画とのコラボ映写会 (第 5 回世界のウチナーンチュ大会記念)	10 月12 日～14 日	132
H24	復帰～あの日までの沖縄・あの日からの沖縄～	5 月18 日～20 日 7 月27 日～29 日	492
H25	記録映像にみる沖縄戦	6 月22 日	43
H26	沖縄の戦い	6 月22 日	85

4 － 8　資料保存講習会実施状況

	講習会名	講師	開催日	参加者（人）
H17	資料のクリーニングと防虫対策	大湾ゆかり	8 月 10 日	49
H18	裏打ちとリーフキャスティング	大湾ゆかり	8 月 11 日	23
H19	簡易補修と保存箱	大湾ゆかり	8 月 10 日	31
H20	パンフレット製本とエンキャプスレーション	大湾ゆかり	8 月　1 日	37
H21	和本の製本と保存箱づくり	大湾ゆかり	8 月　7 日	46

第３　各年のできごと

H17 ～ H26

2005 平成 17 年度

4 月 5 日～ 7 月 17 日	常設展	「沖縄県公文書館の収蔵資料」
6 月 22 日	映写会	「沖縄戦関係映像フィルム」
6 月 30 日、7 月 7 日、14 日	連続講座	「冊封体制と琉球王国」　赤嶺守
8 月 2 日～ 10 月 2 日	企画展	「公文書等の記録資料に見る沖縄戦 アイスバーグ作戦」
8 月 5 日	講演会	「戦場彷徨 14 日間」　船越義彰
8 月 5 日	映写会	「もうひとつの沖縄戦」
8 月 10 日	資料保存講習会	「資料のクリーニングと防虫対策」　大湾ゆかり
10 月 6 日、13 日、20 日	連続講座	「大学生のためのアーカイブズ講座」 豊見山和美　福地洋子　久部良和子
10 月 18 日～ H18 年 3 月 31 日	常設展	「沖縄県公文書館の収蔵資料」
12 月 7 日～ 12 日	移動展	「沖縄戦と戦後復興」（那覇市パレットくもじ）
H18 年 2 月 4 日	開館 10 周年記念シンポジウム	「琉球政府の記録から何を学ぶか」 金城功　大城将保　大城立裕　津波古充勝　恩河尚



移動展チラシ

低酸素濃度処理装置の設置
「琉球政府文書緊急保存措置事業」開始（～ H24）
一筆地調査図の保存状態調査
米国での資料収集終了

沖縄県より文書 3,720 箱を受入れ
米国で沖縄関係資料 2,645 件収集（ミシガン州立大学所蔵琉球大学支援事業関係文書等）
沖縄関係資料 628 件収集（（財）郵便貯金住宅等事業協会文書、読谷村教育委員会所蔵「屋良朝苗日誌」複製等）

沖縄県文書 628 簿冊、行政刊行物 1,756 冊公開
米国収集資料 138 件公開（国務省一般記録等）
沖縄関係資料 2,637 件公開（第 2 代沖縄県知事平良幸市文書、第 3 代琉球政府行政主席大田政作文書等）



米国国立公文書館での収集作業

特別企画展図録　『公文書等の記録資料に見る沖縄戦アイスバーグ作戦』発刊
移動展図録『沖縄戦と戦後復興』発刊
『琉球政府文書目録（第 2 編　企画局）』発刊
『琉球政府文書目録（第 3 編　主税局）』発刊

開館 10 周年記念シンポジウム
「琉球政府の記録から何を学ぶか」



講師　金城功氏



パネリスト　大城将保氏



パネリスト　恩河尚氏



パネリスト　左から津波古充勝氏　大城立裕氏



企画展図録



企画展



大学生のためのアーカイブズ講座のひとこま

低酸素濃度処理装置の設置



当館は、平成 16 年度まで臭化メチルと酸化エチレンの混合剤であるエキボンを使用した薬剤燻蒸を実施していました。しかし、臭化メチルがオゾン層破壊物質の一種であることから、先進国での使用が全廃になったことや、資料や人体、環境に与える影響に鑑みて、平成 17 年度末に窒素ガス注入型低酸素濃度処理装置を導入しました。この処理によって、薬剤を使用することなく殺虫効果が得られますが、殺菌効果は期待できません。

環境にやさしい公文書館をめざして、当館では害虫とエコロジーに対する知識を総合的に活用して虫菌類を防除する、IPM（Integrated Pest Management ＝総合的害虫管理）の手法を取り入れ、虫や菌が発生しにくい環境整備に力を入れています。

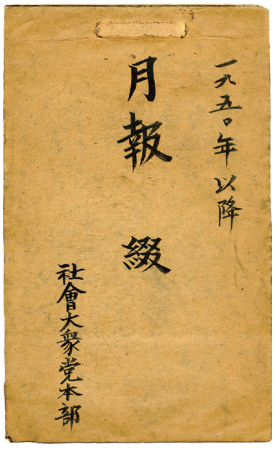
2006 平成 18 年度

4 月 11 日～ 9 月 3 日　**常設展**　「沖縄県公文書館の収蔵資料」
7 月 13 日　**講演会**　「琉球王国大航海時代のキーマンとその周辺 - 尚円を中心に」　井上秀雄
8 月 11 日　**資料保存講習会**「裏打ちとリーフキャスティング」　大湾ゆかり
9 月 12 日～ H19 年 3 月 31 日　**常設展**　「沖縄県公文書館の収蔵資料」
10 月 5 日　**講演会**　「地図・空中写真から読む沖縄の今昔」　下地恒明

沖縄県より文書 2,432 箱を受入れ
米国で沖縄関係資料 1,169 件収集（国務省一般記録群等）
沖縄関係資料 8 箱 176 件収集（沖縄社会大衆党関係文書等）

沖縄県文書 1,266 簿冊、行政刊行物 831 冊公開
米国収集資料 2,262 件公開（USCAR 労働局文書等）
沖縄関係資料 1,817 件公開（湧川清栄文書等）
大城立裕寄託資料を県立図書館へ譲渡

『琉球政府文書目録（第 4 編　法務局 1）』発刊
『琉球政府文書目録（第 6 編　農林局 1）』発刊
『琉球政府文書目録（第 6 編　農林局 2）』発刊
『沖縄県公文書館年報』をネット出版に切替え（8 号から）



沖縄社会大衆党関係文書より


2 年目に入った一筆地調査図の補修作業


講演会講師　井上秀雄氏

地図・空中写真から読む沖縄の今昔



ロビー展示の様子



講師の下地恒明氏（左）と参加者

ホームページがリニューアル

当館は、平成 10 年度にホームページを開設し、平成 18 年度に大規模なリニューアルを実施して、サービスの充実を図ることになりました。

新規コンテンツとして、従来から配信していた米国収集の沖縄戦関係写真資料に、琉球政府の広報広聴用の写真 41,523 枚を加えた画像検索データベース「写真が語る沖縄」や、沖縄戦関係映像資料のダイジェスト版、公報画像の検索閲覧ができる「琉球政府等公報」、「琉球立法院会議録」などを新たに追加しました。



2007 平成 19 年度

4 月 1 日～ 9 月 22 日	**常設展**　「沖縄県公文書館の収蔵資料」
5 月 18 日	**公文書講演会**「国立公文書館の公開制度・歴史公文書と個人情報」米川恒夫
6 月 1 日	**映写会**　「大学生のためのアーカイブズ入門」（沖縄国際大学）
6 月 29 日、7 月 6 日	**講座**　「中国・薩摩は琉球をどう見たか 1･2」　深澤秋人
8 月 2 日、9 日、16 日、23 日、30 日	**映写会**　「生徒のための夏休み映写会」
8 月 10 日	**資料保存講習会**「簡易補修と保存箱」　大湾ゆかり
8 月 24 日	**公文書講演会**「米国における政府公文書へのアクセスの保障」マイケル・J・カーツ
10 月 2 日～ H20 年 3 月 30 日	**常設展**　「沖縄県公文書館の収蔵資料」
10 月 26 日	**講演会**　「おきなわ豆腐ロード」　宮里千里
11 月 20 日～ 30 日	**移動展**　「映像と写真が語る宮古」（宮古島市総合博物館）
H20 年 2 月 15 日	**講演会**　「保存処置と修理はどう違う？」　尾立和則

沖縄県より文書 3,196 箱を受入れ
沖縄関係資料 544 件収集

沖縄県文書 1,515 簿冊、行政刊行物 745 冊公開
米国収集資料 1,513 件公開（ミシガン州立大学所蔵琉球大学支援事業関係資料等）
沖縄関係資料 1,039 件公開（沖縄戦証言記録等）

「オンデマンド講演会」、「沖縄県公報」検索・閲覧データベースをホームページに登載



宮古支庁での文書管理状況調査



沖縄戦証言記録をデジタル化



沖縄国際大学での展示作業



宮古島市総合博物館での移動展



公文書講演会講師　米川恒夫氏



講座講師　深澤秋人氏



公文書講演会講師　マイケル・J・カーツ氏

指定管理者制度へ移行

平成 15 年の地方自治法の一部改正により、公の施設の管理について、指定管理者制度が導入されました。公の施設のより効果的・効率的な管理を行うため、民間の能力を活用し、住民サービスの向上や経費節減を図ることを目的としています。

沖縄県は、平成 19 年 4 月より公文書館に指定管理者制度を導入して事業者を公募し、（財）沖縄県文化振興会が指定管理者に選定されました。（財）沖縄県文化振興会は、平成 8 年 4 月から管理委託制度移行により公文書館業務を受託してきており、平成 19 年度から 27 年度まで 3 期連続の指定管理者となっています。

2008 平成 20 年度

4 月 8 日～ 9 月 28 日	常設展	「沖縄県公文書館の収蔵資料」 （ミニ企画　移民　海を渡った先人たち）
6 月 22 日	映写会	「記録された映像にみる［沖縄戦］を考える」
6 月 25 日、7 月 2 日	講座	「沖縄アイデンティティとは何か 1 ・ 2」 林泉忠
7 月 7 日	映写会	「大学生のためのアーカイブズ講座」（名桜大学）
8 月 1 日	資料保存講習会	「パンフレット製本とエンキャプスレーション」 大湾ゆかり
8 月 22 日	公文書講演会	「どう変わる？国・地方公共団体の公文書管理― 公文書館制度の充実に向けて」梅原康嗣 （沖縄県庁講堂）
10 月 7 日～ H21 年 3 月 29 日	常設展	「記録なくして歴史なし」 （特別企画　キャラウェイ旋風）
10 月 22 日	講演会	「グスクから語る沖縄経済社会」 北原秋一
10 月 29 日	講演会	「沖縄の誇り美ら海」 金城浩二
11 月 5 日～ 16 日	移動展	「タイムトリップ八重山― 沖縄県公文書館収蔵資料で振り返るあの頃」 （石垣市立図書館）

防鳥ネットの設置
沖縄県文書の本格的公開開始

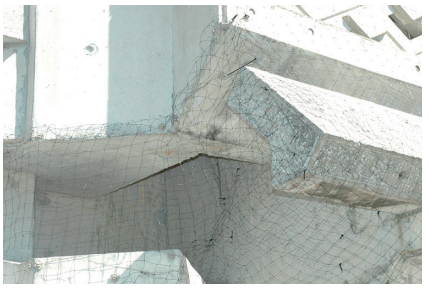
沖縄県より文書 4,284 箱を受入れ
沖縄関係資料 51 箱収集（首里城復元期成会資料）

沖縄県文書 2,228 簿冊、行政刊行物 1,115 冊公開
米国収集資料 2,522 件公開（USCAR 公安局文書等）
沖縄関係資料 377 件公開（西常央資料等）

ホームページで「所蔵資料の概要」、「県職員 HP」、「公文書館通信」、携帯電話用サイトの供用開始



常設展チラシ


防鳥ネットの設置



常設展



石垣市立図書館での移動展



公文書講演会講師　梅原康嗣



名桜大学でのアーカイブズ講座



映写会

「沖縄戦証言記録」の公開と活用

「沖縄戦証言記録」は、昭和 46 年に刊行された『沖縄県史　第９巻各論８　沖縄戦記録 1』の編集のために体験者からの聴き取りを行った際に録音された音声資料です。

この録音テープは調査を担当した宮城聰氏が保管し、平成７年度に遺族から当館に寄贈されています。これらを整理して利用に供するため、証言者本人や遺族のご承諾を得るにあたって、地域の方々に多大なご協力をいただきました。

そのお礼もこめて、当館で公開した証言記録を活用したさまざまな企画を支援することになりました。糸満市与座や米須のコミュニティーセンター、八重瀬町新城の公民館で、音声記録の公開や関連写真展、体験者の講演会等が開催されました。



糸満市与座コミュニティセンター　会場にて

2009 平成21年度

4月14日～7月19日	**常設展**　「記録なくして歴史なしⅡ」 （特別企画　スパイ・アイランド・オキナワ）
5月27日、6月3日、10日、17日	**連続講座**　「米公文書活用講座　入門編」　仲本和彦
7月1日	**講座**　「大学生のためのアーカイブズ講座」（琉球大学） 久部良和子　仲本和彦　吉嶺昭　福地洋子
8月4日～10月4日	**企画展**　「オペレーション・レッドハット1971 ～沖縄をゆるがした毒ガス移送」
8月7日	**資料保存講習会**「和本の製本と保存箱づくり」　大湾ゆかり
9月4日	**映写会**　「映像にみる沖縄の戦前戦後」　世良利和 山里将人　仲松昌次　名嘉山リサ
10月20日～H22年3月31日	**常設展**　「深く掘れ、己の胸中の泉」 （特別企画　海の沖縄戦）
10月30日	**公文書講演会・パネルディスカッション**　「沖縄県の公文書管理～ いま何をすべきか、何ができるか」（沖縄県庁講堂） 後藤仁　山城正也　富永一也　豊見山和美
H22年2月2日～14日	**移動展**　「写真と映像にみるうるま市の戦後 レッドハット作戦～うるま市を走り抜けた 毒ガス移送のトラック」 （うるま市立石川歴史民俗資料館）



米公文書活用講座講師　仲本和彦氏

沖縄県より文書4,904箱を受入れ
沖縄関係資料104箱17件収集（（財）沖縄県国際交流・人材育成財団資料等）

沖縄県文書3,548簿冊公開（地籍調査関係文書等）
行政刊行物1,174冊公開
米国収集資料1,223件公開（海軍軍令部長室文書等）
沖縄関係資料2,290件公開（那覇地方裁判所資料等）



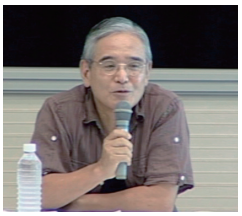
資料保存講習会

ホームページに「空から見た沖縄」、「映像が語る沖縄」を追加

映写会「映像にみる沖縄の戦前戦後」



講師　世良利和氏



コメンテーター　仲松昌次氏



コメンテーター　山里将人氏



コメンテーター　名嘉山リサ氏



うるま市移動展でのガイドツアー



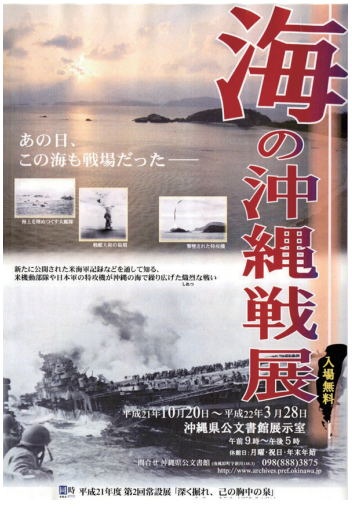
公文書講演会講師　後藤仁氏



パネリスト　山城正也氏　富永一也氏

公文書講演会・パネルディスカッション

「沖縄県の公文書管理～いま何をすべきか、何ができるか」



常設展特別企画チラシ



企画展チラシ



常設展特別企画チラシ

2010 平成22年度

4月1日～6月27日	**常設展**　「深く掘れ、己の胸中の泉」 （特別企画　海の沖縄戦）
6月1日～6日	**地域パネル展**「海の沖縄戦」（沖縄県平和祈念資料館）
6月18日	**公文書講演会**「オバマ政権下における情報公開について」 トーマス・M・サスマン
7月13日～12月26日	**常設展**　「公文書がつなぐ過去と未来」 （ミニ企画　写真が語る沖縄）
8月12日、13日	**公文書講演会**　「後々の世んかい残さびら公文書」　早川和宏
12月6日	**講座**　「公文書活用講座入門編～アーカイブズで沖縄を知る～」 大城博光　垣花優子　久部良和子　福地洋子
12月10日～15日	**地域パネル展**「写真が語る読谷村」 （読谷村文化センターギャラリー）
12月13日	**講座**　「公文書活用講座入門編～アーカイブズで沖縄を知る～」 大城博光　垣花優子　久部良和子　福地洋子 （読谷村文化センター）
H23年2月2日	**講演会**　「沖縄の土地調査」玉城稔
H23年2月16日	**講演会**　「沖縄の土地調査」玉城稔 （沖縄県中部合同庁舎）
H23年1月11日～3月31日	**常設展**　「公文書がつなぐ過去と未来」 （ミニ企画　沖縄の地籍調査）
H23年2月14日～18日	**地域パネル展**「沖縄の地籍調査」 （沖縄県中部合同庁舎1階ロビー）

公文書管理状況調査（10月～H23年3月）
公文書館サイン改修実施（H23年1月～3月）

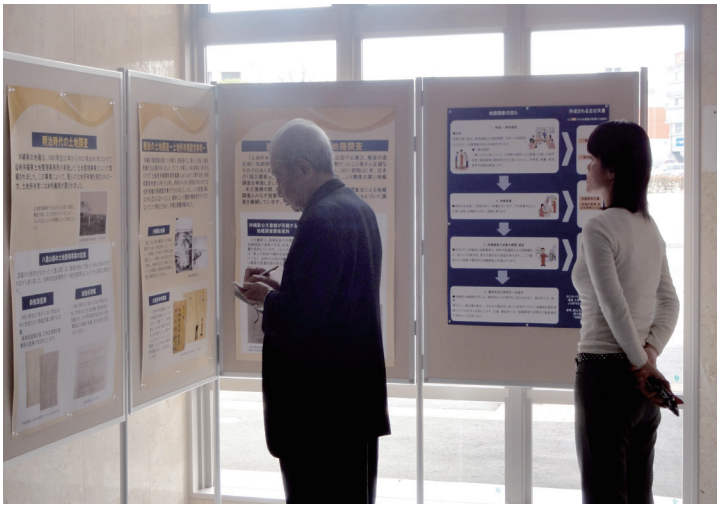
沖縄県より文書3,110箱を受入れ
沖縄関係資料162件収集（日本放送協会沖縄放送局寄贈沖縄戦関係映像フィルム等）

沖縄県文書1,129簿冊、行政刊行物1,155冊公開
米国収集資料236件公開（米国陸軍軍史研究所所蔵沖縄関係資料等）
沖縄関係資料580件公開（初代沖縄県知事「屋良朝苗日誌」等）

『沖縄県公文書館所蔵　ジョージ・H・カー文書目録』発刊



『ジョージ・H・カー文書目録』



沖縄県中部合同庁舎での地域パネル展



常設展チラシ



公文書講演会講師　早川和宏氏

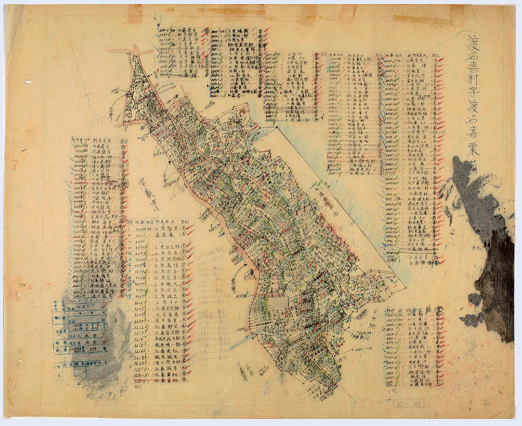


公文書講演会講師　トーマス・M・サスマン氏

沖縄の地籍に関する文書

沖縄県では去る大戦において、宮古・八重山群島を除いて公図・公簿のほとんどが焼失しました。米軍統治下で土地所有権認定事業が実施されましたが、より正確な地籍図、地図等を作成するため、琉球政府（日本復帰以降は沖縄県）は、継続して地籍調査を実施しました。

当館は地籍調査に関する文書の引渡しを受けて利用に供しています。あわせて地籍調査のあゆみをたどる展示会や講演会を開催し、利用普及につとめました。



デジタル化された一筆地調査図　渡名喜村

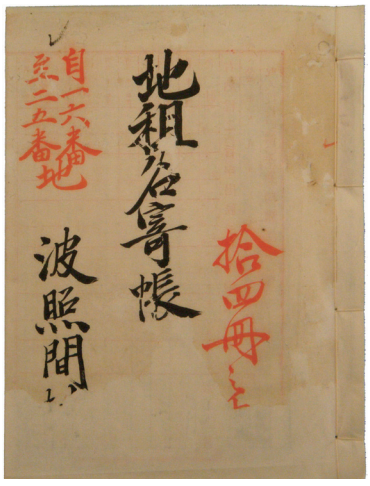
2011 平成 23 年度

4 月 1 日～ 6 月 26 日	常設展	「公文書がつなぐ過去と未来」 （ミニ企画　沖縄の地籍調査）
7 月 8 日	公文書館機能普及セミナー in 沖縄	「公文書管理の現場から～いま、私たちができること」 竹内啓　新井浩文　外間より子　恩河尚　泉川良彦 呉屋美奈子　柳下宙子　富永一也
7 月 16 日～ H24 年 3 月 31 日	常設展	「公文書がつなぐ過去と未来」 （ミニ企画　在外同胞～世紀を越えた移民たち～）
10 月 12 日～ 10 月 14 日	映写会	「常設展ミニ企画とのコラボ映写会」 （第 5 回世界のウチナーンチュ大会記念）
11 月 7 日	講座	「沖縄の土地調査について」　玉城稔 （沖縄県北部合同庁舎）
12 月 24 日	講座	「デジタル・アーキビスト講習会 in 沖縄 2012」 仲本和彦　吉嶺昭　久世均

公文書管理状況調査（9 月～ H24 年 2 月）

沖縄県より文書 6,978 箱を受入れ
沖縄関係資料 4 箱 214 件収集（海難審判庁関係資料等）

沖縄県文書 2,140 簿冊、行政刊行物 1,168 冊公開
米国収集資料 426 件公開（マッカーサー記念館所蔵文書等）
沖縄関係資料 85 件公開（日本放送協会沖縄放送局寄贈沖縄戦関係映像フィルム等）



修復された地租名寄帳



公文書館機能普及セミナー



講座講師　玉城稔氏



映写会

公文書管理状況調査

沖縄県で日々作成・収受される公文書は、沖縄県文書編集保存規程等により、保存期間満了後は、廃棄の協議を経て公文書館に引渡すこととされています。

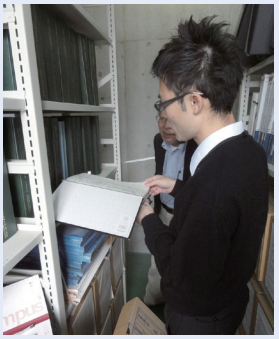
各課の文書管理状況の把握と引渡し促進のための取組みとして、平成 22 年度から 23 年度にかけて、本庁知事部局、各種委員会、公営企業や出先機関を対象に全体的な公文書管理状況調査を実施しました。

調査内容は、以下の 4 点です。

①文書管理体制及び保管場所
②完結文書を含む現用文書及び保存期間が満了した文書の有無
③公文書館指定管理者への文書引渡しについて
④公文書管理状況について関係職員との意見交換

公文書管理状況調査は随時行っていますが、全体的・集中的な調査は初めての取組みで、平成 22 年度は 104 機関、23 年度は 227 機関を対象としました。





2012 平成 24 年度

4 月 1 日～ 25 日　**常設展**　「公文書がつなぐ過去と未来」（ミニ企画　在外同胞～世紀を越えた移民たち～）

5 月 15 日～ 8 月 19 日　**特別企画展**「日本復帰 40 周年記念特別企画展 日本復帰への道」

5 月 18 日～ 5 月 20 日　**映写会**　「復帰～あの日までの沖縄・あの日からの沖縄～」

7 月 27 日～ 7 月 29 日　**映写会**　「復帰～あの日までの沖縄・あの日からの沖縄～」

9 月 4 日～ H25 年 3 月 31 日　**常設展**　「沖縄県のあゆみ」（ミニ企画 琉球政府厚生局のお仕事）

10 月 26 日　**公文書講演会**「公文書管理のあるべき姿を目指して」中島康比古　足田晃

「琉球政府文書緊急保存措置事業」終了

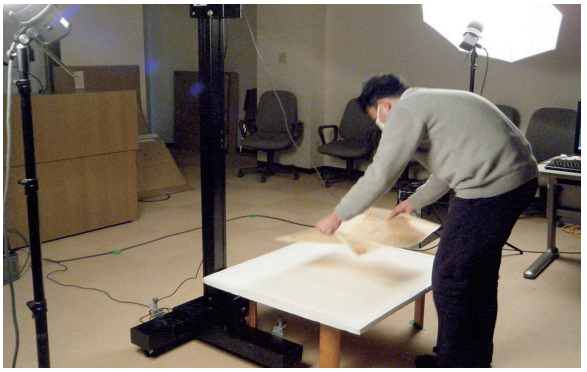
沖縄県より文書 8,173 箱、行政刊行物 27 箱を受入れ
沖縄関係資料 166 箱収集（「1 フィート運動の会」映像資料等）
瀬底真守氏寄託資料を県立博物館へ譲渡



琉球政府文書を保存性の高い箱へ入替え

沖縄県文書 1,687 簿冊、行政刊行物 1,124 冊公開
米国収集資料 658 件公開（陸軍参謀本部文書等）
沖縄関係資料 79 件公開（海難審判庁関係資料等）

復帰 40 周年記念特別企画展図録『日本復帰への道』発刊
ホームページに「琉球政府文書全文デジタルデータ」、「米国収集資料全文デジタルデータ」、「行政記録データベース」を追加



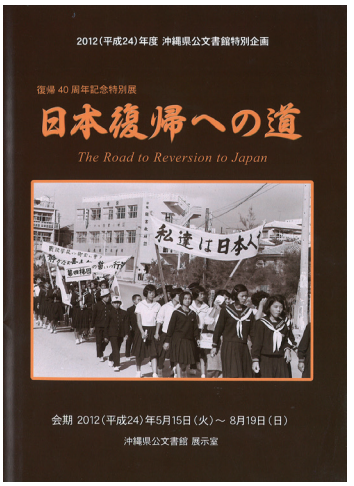
一筆地調査図のデジタル化作業



簡易補修された陸軍兵籍簿



日本復帰 40 周年記念特別企画展



特別企画展図録



公文書講演会講師　中島康比古氏



公文書講演会講師　足田晃氏

琉球政府文書緊急保存措置事業

平成 15 年度から 16 年度にかけて行った「琉球政府文書保存状態調査」及び「琉球政府文書素材調査」の結果に基づき、平成 17 年度から 24 年度までの 8 年計画で「琉球政府文書緊急保存措置事業」を実施しました。

同事業では、琉球政府文書の中で最も劣化が著しく利用に供することのできない簿冊の修復や、湿式コピー紙や青焼きコピー紙等の褪色しやすい素材を含む簿冊のマイクロ撮影、保存容器の入替えによる劣化予防措置を行いました。

平成 24 年度までに、強弱劣化資料 308 簿冊を修復し、2,652 簿冊のマイクロ撮影を終了しました。また、8,591 箱（109,152 簿冊）の入替えを実施しました。



文書の状態を悉皆調査

2013 平成 25 年度

4 月 2 日～ 6 月 16 日	常設展	「沖縄県のあゆみ」 （ミニ企画　琉球政府厚生局のお仕事）
6 月 22 日～ 12 月 1 日	常設展	「沖縄県のあゆみ」
6 月 22 日	映写会	「記録映像にみる沖縄戦」
9 月 11 日～ 29 日	移動展	「資料にみる宜野湾市の戦後」（宜野湾市立博物館）
12 月 17 日～ H26 年 3 月 30 日	常設展	「沖縄県のあゆみ」（ミニ企画　写真に見る近代の沖縄）
H26 年 2 月 19 日～ 3 月 2 日	移動展	「公文書館資料に見るあの頃の伊江島」 （伊江村農村環境改善センター）

「琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業」開始

沖縄県より文書 3,112 箱、行政刊行物 40 箱を受入れ
沖縄関係資料 8 箱収集（看護課長会議録等）
県職労関係資料を沖縄県平和祈念資料館へ譲渡

沖縄県文書 2,720 簿冊公開（援護課文書等）

ホームページで映像コンテンツのモバイル端末対応開始



伊江島移動展チラシ



宜野湾移動展チラシ



映写会



常設展　沖縄県のあゆみ



常設展ミニ企画　写真にみる近代の沖縄



宜野湾市立博物館での移動展



伊江村農村環境改善センターでの移動展

琉球政府文書
デジタル・アーカイブズ推進事業

琉球政府文書をインターネットで公開し、利活用を促進する「琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業」が平成 25 年度に始まりました。

この事業は、沖縄振興特別推進交付金を活用し、琉球政府文書の「県民の公平な利用」を促進し、もって「国内外の沖縄研究の発展」に寄与することを目的として、平成 33 年度までに 13 万簿冊が検索・閲覧できるデジタル・アーカイブズを構築するものです。

同事業では、劣化の進んだ資料をデジタル撮影するための簡易補修も進めています。



2014 平成 26 年度

4 月 1 日～ 6 月 29 日	常設展	「沖縄県のあゆみ」 （ミニ企画　写真に見る近代の沖縄）
6 月 22 日	講座	「沖縄県公文書館所蔵　沖縄戦関係資料案内」　仲本和彦
6 月 22 日	映写会	「沖縄の戦い」
7 月 15 日～ H27 年 1 月 18 日	常設展	「公文書館の仕事―記録を残す、記憶をつなぐ」 （ミニ企画　1964 年　沖縄をかけぬけた聖火リレー）
9 月 7 日	上映＆アーキビスト・トーク	「所蔵資料が映し出す沖縄の 1960 年代と聖火リレー」 豊見山和美
11 月 22 日	公文書講演会	「公文書はだれのもの？ 公文書管理制度と歴史研究、民主主義」　瀬畑源
H27 年 2 月 3 日～ 3 月 31 日	常設展	「公文書館の仕事―記録を残す、記憶をつなぐ」 （ミニ企画　旅人たちが撮った沖縄）
H27 年 2 月 20 日～ 22 日	移動展	「公文書館所蔵資料にみる南大東島の歴史」 （南大東村立ふるさと文化センター）

「琉球政府文書（陸軍兵籍簿）の保存対策に関する調査」実施
（（公財）元興寺文化財研究所委託事業）

沖縄県より文書 2,570 箱、行政刊行物 32 箱、電子公文書 1,644 箱を受入れ
沖縄関係資料 81 箱収集（（公社）沖縄県対米請求権事業協会文書等）
日本新聞協会資料（南海日日新聞）を沖縄県立図書館へ譲渡

沖縄県文書 2,046 簿冊（援護課文書等）、行政刊行物 1,064 冊公開
（株）琉球朝日放送寄贈「1 フィート運動の会収集　沖縄戦記録映像」
322 件公開

ホームページに「戦後初期 琉球民政機構会議録フルテキスト・データベース」を追加



常設展チラシ


沖縄戦記録映像デジタル版の受贈


保存対策立案のための調査



南大東村立ふるさと文化センターでの移動展



1964 年　沖縄をかけぬけた聖火リレー展



講座講師　仲本和彦氏

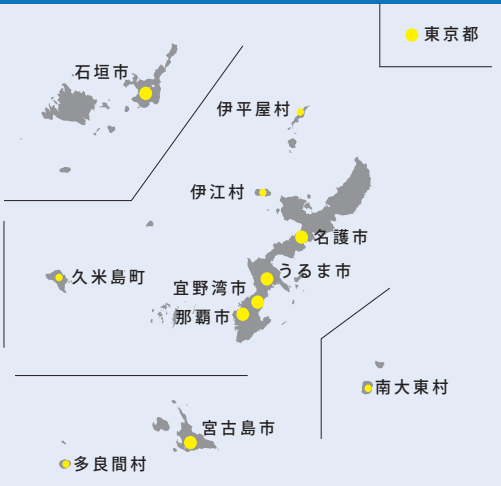


公文書講演会講師　瀬畑源氏

これまでの移動展開催地

移動展は、直接来館する機会の少ない遠隔地のみなさまに、公文書館の活動と所蔵資料の重要性を理解していただくことを目的に実施しているもので、平成 10 年度から 26 年度までに県内 11 ヶ所、県外 1 ヶ所で開催しました。

展示会場では、地域のみなさまから写真や資料に関する情報が寄せられました。



■付録　業務実績基礎データ

1－1　沖縄県文書の受入れ箱数

H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
14,217	4,184	1,226	1,354	1,564	1,702	1,815	1,622	1,662	3,046

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
3,720	2,432	3,196	4,284	4,904	3,110	6,978	8,173	3,112	4,214	76,515

1－2　沖縄県文書の内容別受入れ箱数

部局名	箱数
総務部関係（統計、監査、会計、財政含む）	5,837
基地対策関係（渉外労務含む）	995
企画関係（地域振興、交流、文化含む）	5,064
地籍関係	2,568
福祉・援護関係	12,369
生活・安全関係	2,360
環境衛生・保健関係	7,897
商工労働関係	4,176

部局名	箱数
土木建築関係	16,078
農林水産関係	12,438
支庁（宮古・八重山）	501
議会	14
教育委員会	4,746
その他行政委員会	893
企業局	579
計	76,515

1－3　沖縄県文書の評価選別結果

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
保存・一部保存	2,002	2,958	6,811	2,133	837	831	1,455	1,341	18,368
廃棄	5,039	7,821	4,422	3,103	1,369	2,879	2,303	2,154	29,090
計	7,041	10,779	11,233	5,236	2,206	3,710	3,758	3,495	47,458

1－4　資料群別目録公開点数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
沖縄県文書	2,384	2,097	2,260	3,343	4,722	2,284	3,308	2,811	2,720	3,110	29,039
沖縄関係資料	2,637	1,817	1,039	377	2,290	580	85	79	0	322	9,226
米国収集資料	138	2,262	1,513	2,522	1,223	236	426	658	0	0	8,978
計	5,159	6,176	4,812	6,242	8,235	3,100	3,819	3,548	2,720	3,432	47,243

3－1　閲覧室入室者数

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
5,168	4,651	5,031	4,224	4,888	5,024	4,968	5,483	4,915	5,159	49,511

３－２　閲覧申請点数および閲覧申請者数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
閲覧申請点数	6,927	7,847	8,201	7,895	7,866	10,420	10,638	14,184	13,591	14,921	102,490
（うち行政利用）	702	604	780	347	415	424	566	2,203	849	1,874	8,764
閲覧申請者数	1,316	1,358	1,590	1,296	1,478	1,568	1,761	2,020	1,910	2,065	16,362
（うち行政利用）	131	133	193	83	87	83	100	211	125	146	1,292

３－３　資料群別閲覧申請点数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
琉球政府文書	1,701	1,631	2,247	1,713	1,728	1,581	2,133	2,632	1,792	2,068	19,226
沖縄県文書	123	97	207	151	310	479	776	1,477	1,197	1,804	6,621
沖縄関係資料	2,633	3,667	3,785	3,356	3,328	4,566	3,347	3,735	3,910	3,966	36,293
米国収集資料	561	839	1,046	1,577	1,315	1,435	1,927	2,420	2,915	3,812	17,847
計	5,018	6,234	7,285	6,797	6,681	8,061	8,183	10,264	9,814	11,650	79,987

３－４　複写資料点数と複写枚数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
複写資料数	1,723	1,962	1,847	1,498	1,596	1,628	6,532	8,638	8,170	10,130	43,724
（うち行政利用）	111	392	190	64	57	56	210	1,047	339	694	3,160
複写枚数	63,395	68,890	85,979	92,161	78,918	95,400	83,239	119,912	123,758	138,794	950,446
（うち行政利用）	3,321	1,592	1,743	553	2,436	730	1,151	9,863	1,672	5,761	28,822

４－１　普及行事等参加者数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
展示（移動展含む）	10,107	6,390	9,200	9,199	12,605	10,219	7,627	11,691	11,201	9,435	97,674
講演会等	1,283	254	1,037	619	719	434	290	524	43	267	5,470
見学者	650	499	720	799	948	1,514	601	1,869	1,161	1,589	10,350
計	12,040	7,143	10,957	10,617	14,272	12,167	8,518	14,084	12,405	11,291	113,494

４－２　所蔵資料の利用状況（出版物等掲載その他）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
テレビ、ラジオ、HP	25	10	23	30	50	53	26	42	36	42	337
出版物	88	47	67	56	56	58	76	103	90	136	777
その他	25	28	33	28	49	46	31	44	41	48	373
計	138	85	123	114	155	157	133	189	167	226	1,487

４－４　ホームページアクセス数

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
33,307	35,915	38,587	51,982	91,411	87,938	73,283	80,329	97,954	106,402	697,108

正誤表

P49「4-4 ホームページアクセス数」

	修正前	修正後
H22	87,097	87,938
H24	80,392	80,329
H26	106,420	106,402
計	696,348	697,108

2018 年 9 月 6 日数値修正

沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

20年のあゆみ
A Review of Twenty Years

平成28（2016）年3月発行
編集：（公財）沖縄県文化振興会　公文書管理課
〒901-1105　沖縄県南風原町字新川148-3
沖縄県公文書館
TEL　098-888-3875　FAX　098-888-3879
URL　http://www.archives.pref.okinawa.jp/
発行：沖縄県
印刷：（資）　精印堂印刷



沖縄県